

1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のアテンダント コンソール ユーザへの短縮ダイヤル コピーの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のアテンダント コンソール ユーザへの短縮ダイヤルのコピー](#)

[最初のユーザからの短縮ダイヤルの取得](#)

[2 番目のユーザへの短縮ダイヤルのコピー](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

スピードダイヤル エントリを使用すると、迅速なコールの発信、コールの転送、コンサルト（監視付き）転送、およびスピードダイヤル エントリに関連付けられた個人との会議を開始できます。スピードダイヤル エントリには、ダイヤルグループに追加したユーザの名前、電話番号、およびメモが含まれます。

ある状況では、複数のアテンダント コンソール クライアントが同じ短縮ダイヤル設定を使用する場合があります。その場合、1 人の既存ユーザから、同じ短縮ダイヤルを使用する他のユーザに、短縮ダイヤルをコピーできます。したがって、手動で各ユーザの短縮ダイヤルを設定する必要はありません。このドキュメントでは、DC ディレクトリの使用時に、異なるアテンダント コンソール ユーザ間で短縮ダイヤルをコピーする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントでは、DC ディレクトリを実行することを前提としています。Active Directory を実行する場合は、ドキュメントで説明されている方法を使用して、ユーザから他のユーザに短縮ダイヤルをコピーすることはできません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.x および 4.x
- Cisco CallManager アテンダント コンソール 1.x 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のアテンダント コンソール ユーザへの短縮ダイヤルのコピー

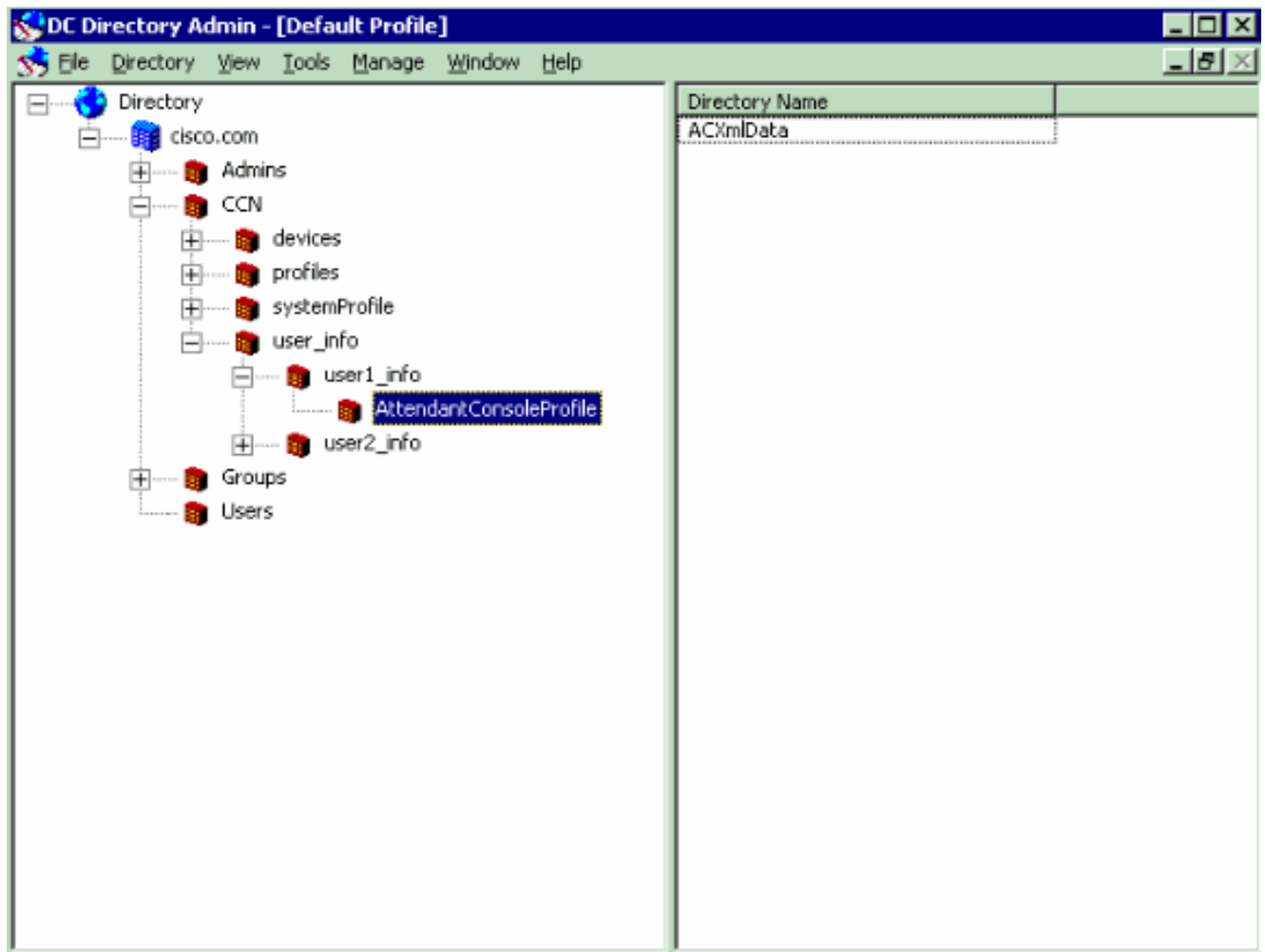
1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のユーザに短縮ダイヤルをコピーするには、次の手順を実行する必要があります。

1. 最初のユーザ（短縮ダイヤルのコピー元となるユーザ、たとえば user1）から短縮ダイヤルを取得します。
2. 短縮ダイヤルを 2 番目のユーザ（短縮ダイヤルのコピー先のユーザ、例えば user2）にコピーします。

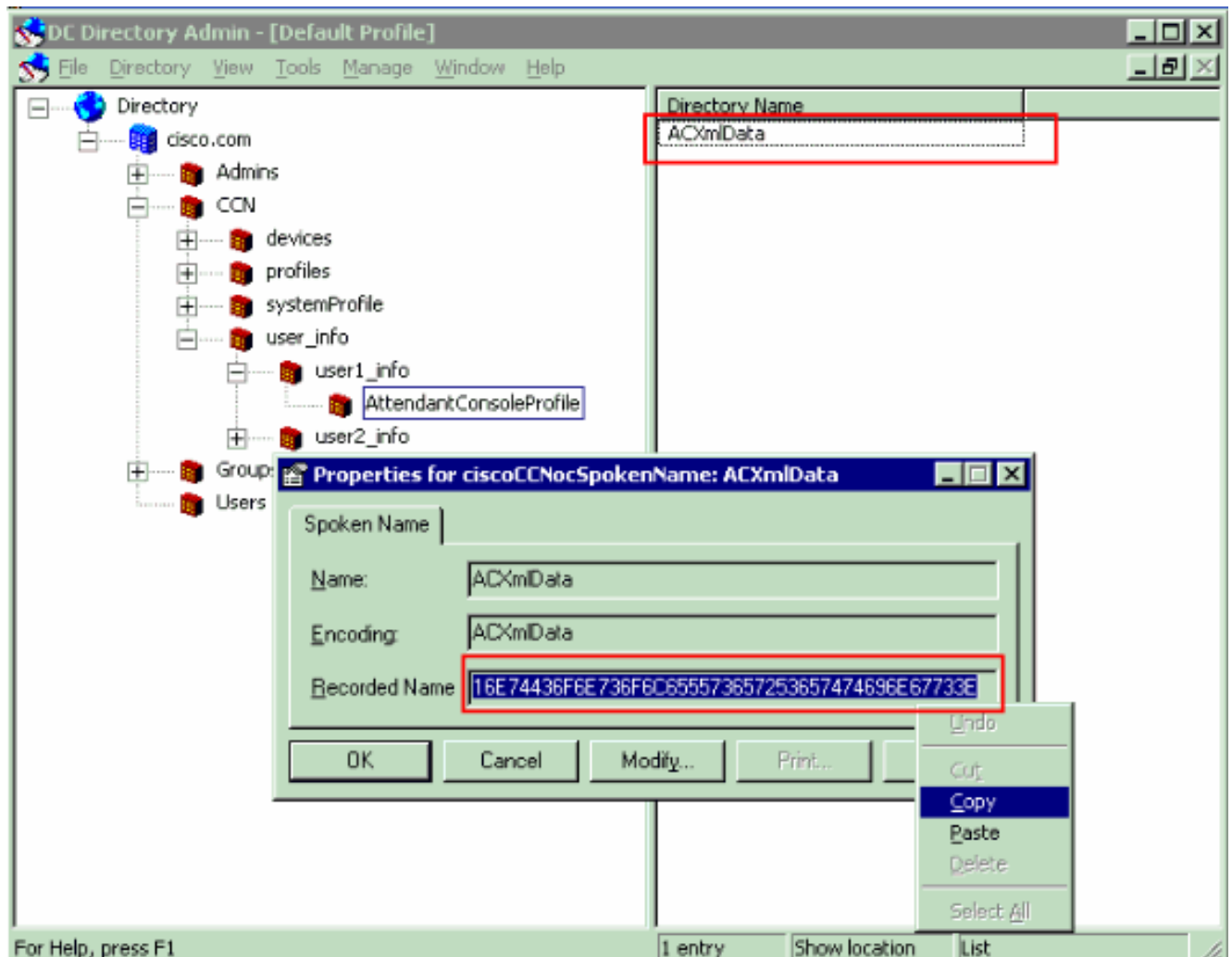
最初のユーザからの短縮ダイヤルの取得

user1 から短縮ダイヤルを取得するには、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Programs] > [DC Directory Administrator] を選択し、DC Directory Admin に移動します。
2. [Administration] フォルダで [Directory] > [cisco.com] > [CCN] > [user_info] > [< user1>_info] を展開します。
3. [AttendantConsoleProfile] を強調表示します。



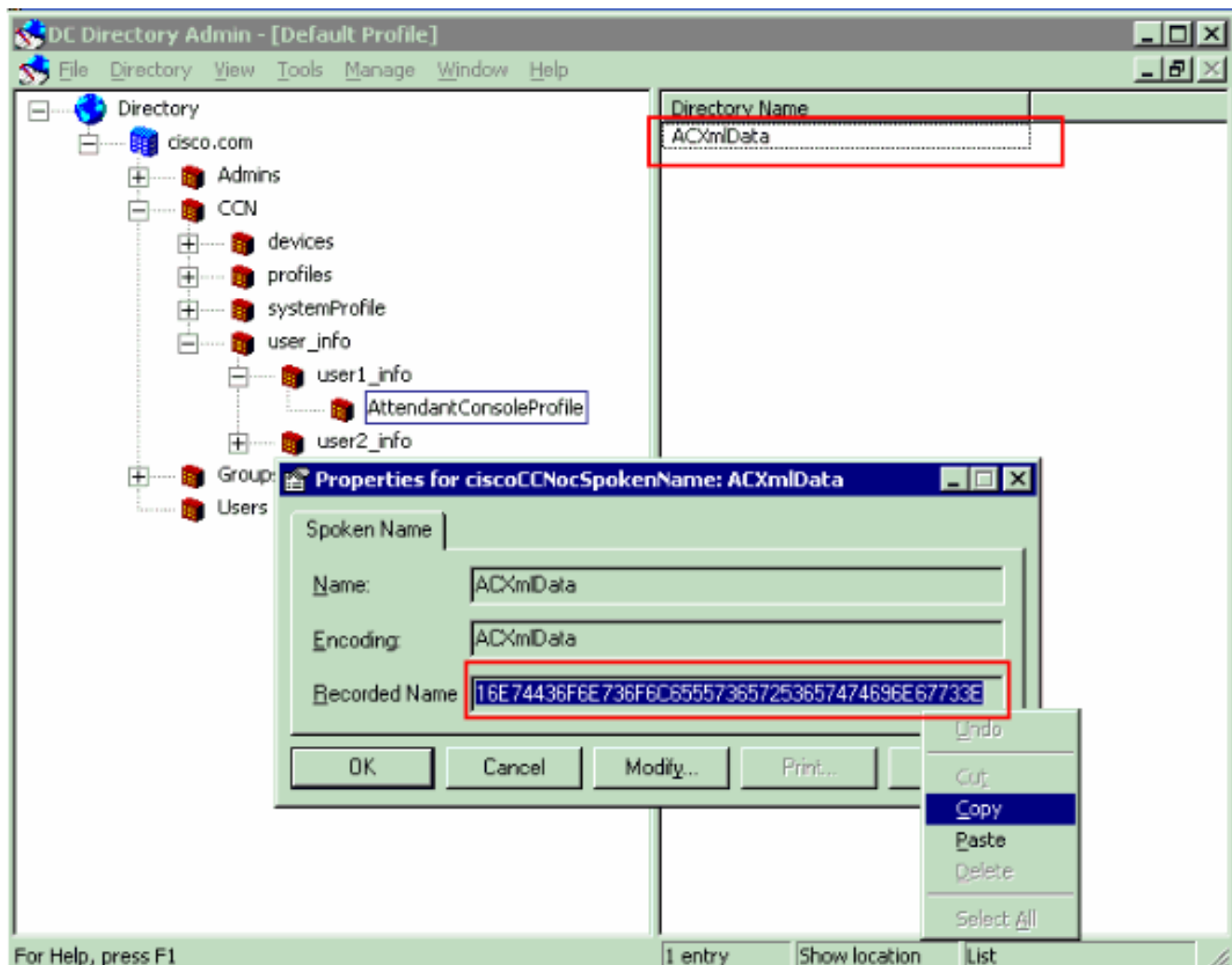
4. 右側のウィンドウ フレームにある [ACXmlData] をダブルクリックします。
5. [Recorded Name] フィールドにデータがあるかを確認します。これは暗号化フォーマットの短縮ダイヤルです。ただし、他のアテンダントの [Recorded Name] フィールドにコピーできます。右クリックして [Copy] 操作を実行します。



2 番目のユーザへの短縮ダイヤルのコピー

user2 に短縮ダイヤルをコピーするには、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Programs] > [DC Directory Administrator] を選択し、DC Directory Admin に移動します。
2. [Directory] > [cisco.com] > [CCN] > [User_info] > [<user2>_info] を展開します。
3. [AttendantConsoleProfile] エントリを探します。右側のウィンドウフレームにある [ACXmIData] をダブルクリックします。
4. [Modify] をクリックし、前述の手順でコピーした短縮ダイヤルを [ACXmIData] フィールドに貼り付けます。[Apply]、次に [OK] をクリックします。



これらの2つの手順を完了したら、user1の短縮ダイヤルはuser2にコピーされます。

確認

短縮ダイヤルがuser1からuser2にコピーされたことを確認するには、アテンダントPCのuser1およびuser2にログインし、[Speed Dials]ウィンドウで両方が同じ番号になっているかを確認します。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [スピードダイヤルウィンドウの使用](#)
- [Cisco CallManager アテンダント コンソール](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)